

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		交通指導員設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
	施 策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和
	基本事業	9	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1225
				法令根拠		道路交通法			
予算科目		会計 1	款 2	項 1	目 3	事業連番 10041	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始		成果優先度評価結果 9 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、毎月1, 10, 20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等への派遣。 交通指導員会議の開催。交通指導員法令等講習会への参加。 【業務の流れ】 指導員の選出、委嘱状の交付、法定講習会へ派遣、研修計画、費用弁償・報酬の支払 【主な予算費目】 報酬、旅費[費用弁償]、需用費(消耗品費)、負担金補助及び交付金									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 毎月3回の通学路を中心とした街頭指導。 市主催行事等での交通指導。交通指導員会議の開催。交通指導員法令等講習会への参加	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)
交通指導員	→ ア 指導員の出場行事数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民の交通の安全を確保するため、適切な交通指導を行うことが出来る。	→ ア 交通指導員数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
事故を起こさないよう行動できる	→ ア 適切な交通指導が出来たと答えた交通指導員の割合 %
	→ イ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
	→ ア 市民が第1当事者となった県内での交通事故発生件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							総 トータル コスト (期間 限定複 数年度 のみ記 載)			
			都道府県支出金	千円										
			地方債	千円										
			その他	千円										
			繰入金	千円										
			一般財源	千円	2,033	1,862	1,875	1,506	1,892	1,892		1,892		
			(A)事業費計	千円	2,033	1,862	1,875	1,506	1,892	1,892		1,892	0	
	人件費		うち指定経費	千円										
			うち時間外、特殊勤務手当	千円										
			正規職員従事人数	人		3	3	4	4	4		4		
		延べ業務時間	時間		130	130	190	190	190	190				
		(B)人件費計	千円	0	517	517	756	756	756	756	0			
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,033	2,379	2,392	2,262	2,648	2,648	2,648	0			
活動指標			ア イ 件	44	49	49	41	41	41	41	目 標 合 計 値 画 22 年度			
対象指標			ア イ 人	24	24	21	21	24	24	24				
成果指標			ア イ %	95.8	100	100	100	100	100	100				
上位成果指標			ア イ 件	380	364	380	334	370	360			360		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、設置した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 人口や車両の増加に伴い事故件数も増加しているため、指導員の必要性も大きくなっている。 指導員の高齢化が進み、20年度で2人の退任者が生じたので、その後の補充、後継者の確保が必要である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市民から、地域行事で、指導員の要請が出来ないかと相談があっている。

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE)＊原則は20年度の後評価、ただし複数年事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 交通指導員が適切な交通指導を行うことによって、事故を起こさないよう行動でき、結果に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 合志市交通指導員設置規則により、行っているもので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 指導員の研修等を行うことで、指導員の資質の向上を図ることが出来る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☒ 影響有 ⇒【その内容】 指導員をなくしてしまうと、現在行っている街頭指導をはじめとする市民への交通指導に影響が出ると思われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指導員の専門的な交通関係の知識を必要とするため、統廃合できない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員運営のための業務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果			⇒	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 有効性については、警察等も連携し、より高度な技術、知識を得られるよう、研修等に工夫をすれば、成果向上の余地がある。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり		
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり		
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり		
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり		

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

</

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	5	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	8	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市